関係に設在して大日代の変形。年上である。部に関係に発音符。 の表を書きている。 これののでは、 中上である。 総がして本名をの歌にして、 やまり、 音が、 母いからを、 郷からな、 郷からな、 のかを 日本で、 では、 日本ののでは、 のかを 日本で、 では、 日本ののでは、 のかを 日本で、 では、 日本のでは、 日本

短の壁した広気に売き機能を挙げ 観覧とを使らに収得に置せしめ先の光照を敷落し、器後級の下に組 去二・統有知繁勢問題の食き機能と

製法 のみならず、滑上所の服役が戦す 個に無行の一片を置いたに外ならて のみならず、滑上所の服役がす 個に無行の一片を置いたに外なら

るのは目睫の間に迫むることであ

濱木綿の花咲く

南紀大島

12

植物試驗場新設

古制服買入れ

當局で慎重研究中

郷力を挙げて完成に運搬しなけれ

一千六百年の

難に我が聴取すべてが心を一にし 我等この最高層跡に在一れらし自動して属準に眺心に自己一

皇紀二千六百年頭の辭

總長 羽 田 国

房具 紙 FIB

を始って、激大の理想を忘却 と心海、財戦一時の私

題は一千六百年の即かし

に入る。余の僧に君を呼は、渡ひ一我の歌師の人として我が歌歌とし一意からを在を造した歌を歌がの思にこの歌を挙けて、一て、歌作とまと歌が歌迷とし一意からを在を造した

のるが、本年度も時紀末仕五日時 三回渡滿の

戦みで、大阪移取と直然的連問

文學 士 黑 田

酷寒の満蒙で一

更に結論の實證

ばどうかなあッと大駅前職館一かねえッと先づ記書を配鳴はせかねえッと先づ記書を配鳴させて行駅間としてばなく駅 称では、財政会々な製生の需要権の制度を 侵級化、人活動無常と火々に 工業化學科

寒風の比叡登山に

して四十四名にする 三十四名の所を来戦から十名戦

することを駆動し、 現代一

機分のため羽川郷長、龍河駅駅

然樹物も生育可能であるし

現方部については日下の町での東の「の上歌元」は香味をおけたが振る。 地方部については日下の町で多物「中国日日報子の町で記憶」で、 中であるから取って思念。

中であるから増うて複数がの主義。つかが原教的を他に「職物の多事を ・ 本語では、一般であり、大きな情報である。 ・ 本語では、一般であり、一般であり、一般であり、一般であるから増って複数がの主義。 ・ 本語で、一般であり、一般であり、一般であるから増って複数が、一般であるから増って複数が、一般であり、一般であるから増い、一般であるから増い、一般であるから増い、一般であるから増い、一般であるから増い、一般であるから増い、一般であるから増い、一般であるから、一般であるから、一般であるから、一般であるから、一般であるから、一般であるから、一般であるから、一般であるから、一般であるから、一般であるから、一般であるから、一般であるから、一般であるから、一般であるから、一般である。

夏皇に興味とと感覚することです。その出現に**は、一般にも獨自の見解があるべく** 髪的著道の重要性が、や、関却されてゐるごく

振りに二回目の機勝をなした機器

年末年始にかけて

多期スポーツ盛况

對明大戦は全蔵の類種をかけ

ラグビー、氷上ホッケー、

綜合籬球

選手權大會 絶球

-35 -35〒.01 三ヶ月分 辛1.05 半年分 辛2.00

新支那建設。

國際經濟學會編

影響を開始古村 開開

に 及 ぼ し た 影響 職会 英国 久雄 事製の書 式場 可接性 職会 東吉川 第光 租界に於ける排目活動 際登泰吉川 第光 租界に於ける排目活動 際登泰吉川 第光 田界に於ける排目活動 際登泰吉川 第光 話した影響教養友間久雄の舊式銀行銭莊雄及東大學友間久雄 正

開口存男 1月號 ◆獨逸語雜誌の最高權威◆

一部 .50〒.01 三ケ月分 ¥ 1.50 半年分 ¥ 2.80 ・ケ年分 ¥ 5.60 特大號內容 数存剪 棋提

説を有するものは、これが最初でて、斯くも廉汎な内容と周到な解とによつて叙述された著作と規範とによつて叙述された著作 の好絶に養涵力學語 叢 註譯語逸獨 第一篇グリム電話

ギリシア文學史

小香長明羅託 小香 島 文 世の 願掛け指環を含いた人 第四篇 ユーモア短篇 密輸入者の話に質べの下では 終 りを観七〇千〇六二 姬 四大和 七二頁

獨逸語學講話 定復四・五〇 〒二二

作文教程 定復四・八〇 下二 菊乳 五六〇日

猫 關口存男 一大名著

京都帝大敦授

田 中 正秀

利央 共著

545

魔話九段二一四五

B

光

金鵄發祥

大帝東大優勝す 新 口目并林田田馬念公利川県 野 口目并林田田馬念公利川県

オツケー・競士院

西洋政治思想の

平下林石部島田崎西福県西竹物野東大

期高專大會

水上 第十四全職商校水上

(01-000)1 M 001-01 補和

(天勝點)

福田

翠光

この新聞 ですが、都

七振駿東

八京臺田

の記憶器 の

年五十年和昭 年五十年和昭 年五十年和昭 東京の権法・マシェルトとよッソ リー・スロー・物理と近り下に、世 リー・スロー・物理と近り下に、世 ・大きなり、大きなリン がしると順機れする者がある。 甚 の だしい職はコーカサスからトルコ る の更膨脹まで概算が影響されて、 一月下低から散機はこのが賦で火 ッ 郷して、ドイツを南北に分離1八年の円里青藤常時の藤崎 あつたが、裏い部内も自己報と が置りだって埋められてるたっ 性々に都労が下てよるので返 様々においておりておいているのでを があれておして新労が出てよるのでを をもなる部がを担けているがで きた。断省の数々なる最高 をはか有じるが変々なる場合がある。 された。 対策が関係をして関係とい思しを 野る所へ、前大陸・運動が必要をして 野る所へ、前大陸・運動が必要をして だか一種この先、ソ戦はどの方 から黒海に連る一種の漫様を貼 を耐するものがない―雪と紫原 力 メラートと フロイン に漂ふ和 M が無難つての問題となる。 ツク海から黒海に取る駅を厳保し 酸とする方向に触いたけれども、 と 触を無償のクラスが場合のと いた。 れなが好きを入べ際に いた。 れなが好きを入べ際に ます重力を飛べてすっしたに ま を ことに編書たる際的である さ ま こことに編書たる際的である と しょとに編書たる際的である。 くりぶんで鼻で切りががくが響きで 人りぶんで鼻で切りがある。 の眼につくことは、次の経點であ これとても販内に於ける左短歌略 部の蔵乳だつたからである。こ の歌を聞きながら私は何か遅く 更に食配軟器巴では本印八月ま うたれるものがあつた。 とそれを動物域に対した。述された動物域にそれを必須つたべざも動がを 郷へさせられる脚である。 ある戦闘で、墓のボーナスを総形づきで若干さし出された 繁戦士 野貞 ボーナスを返した話 平の 機運 たい。 東の物脈の強れが関うといれられる。 だから家様様の強れが関かにあることに関かである。 だから家様様の独れが関づにある で、これを保留するととなって、今、 が既談を御筆するととなって、今 を かる。 イイツにも表情にも、散却は今年内に終了することに依つて でイツにも表情にも、散却は今年内に終了することになつた。 ドイツの秘密機能の設設とンよ で 別を別窓らくとした。 N割が無て 別を別窓らくとした。 N割が無て 別を別窓らくとした。 N割が無い かくぞうにと歌歌が添くさし出 ない運能である。 ちらか。ちらかるのでもあ うかと云つて以際十が影戦くん ※を押しわけ、まさに死につか うとする一臓チョコレート窓を キヤッチして観察にみもた感覚 これに依つて駆好のチャンスを掘 の整備的、駐售的、思術的遊覧は 外へ出るやうに総合さればの ヨコレートといふ終名のあるこ 機であることも、わがN君にチ である。かれの間が大きく他の しい。
仏像士が際日歌歌節の母 長崎 して最後に於ける賦刑 太郎 が 概い。 それには ムッソリーニのイが 戦い。 それには ムッソリーニのイ 脚 大十年以来時えてるたヴアチカン 横線量自らイタリー脈帯を挑戦して れば、東より野んでラに関する気 いたのうで、和本の勝骨が野感する。 であって、和本の勝骨が野感する。 テーけた。私歌はかりではない、む こ らがる最終人がわかする。わか の 夫を、わが兄弟を、わかが人を の たき一世界たいといと歌語に心 は一部の人々が関係するぞうにしな一部の人々が関係するとし、ことに事 れがN窓の縦正な裂も一膜の 機はしかしたこ正臓を見てゐる 機はしかしたこ正臓を見てゐる ドイツを影響するには、ローマ街 だヴェルトが関係の優者を狙つて だヴェルトが関係の優者を狙つて るた。門が繋かれた。 重死が 歴が が なのて押し合つて 受けた。さうして私能はわれら いは、欧界の素人であるだけに、 きであるか、勿殿即即首相に政権 歌歌の演奏はいよく一覧がの形を 戦用けが訪れよ を歌題して、震震に百八十度戦前 つてるても窓は仰向さるせずの ひとり子ひとりの母君が眼を瞠 出て來るのを含か合かと待ちら い秘管をたてく覚々と組んで来 にといふので盛んでその厚意を に配響する前に日本郎に日本民族 中なることを深く反省して、緊褌 われくは二千六百年を徒ら 光輝ある紀元二千六百戦の 政 局 2 ・ 本井つたのである。
かよっと知ず上屋子を積をの向・
がまっと知ず上屋子を積をの向・
が表の観光を行る。
ので、大井が東大・文献
ので、大井が東大・文献
ので、大井が東大・文が、大井が東大・公園間であ
かった「本井が東大・公園間であ
なった「本井が東大・公園間であ
なった「本井が東大・大・四十一つた」と
大は上、上力間が入れて見上った。と 一日つときし時間の限は終からず 近く豹野と無耐強に厥民の間頼地じめは慰死の症く、終りは避妊の 能くし得るやうなものでなく、一 街があらゆる影響において過去の 肉源し、右順左門する総格を興へ の底が認うしいテンポで貸款者に 平沼の時よりも阿部と、その緊迫 と中リナールの情気を回復する手 色つき きよす戦彼は他に埃を利きぬ 部の諸君に懸然して黄ふことを だけであった。私家は画数に選 配みはせじ」といふ機能がこと も行かう、水火の中も何のその 1450 趣度、常道をもつてしてはこれを びようびようと注きわずらぬ思ぶ 内 北京にて の間隔には何人もるないか しと思い間おかず大木の巻 政 早 瀨 展 か ばなど動型だけに知らせて自分 ゆ のがに知らせないかといふやう で な養情の他ろのが観点であるの の に、影響はそんなケチなことは ら 参照されない。否、そんなこと ら をというできないかといるであるの きのふかも深てしと思ふ はなぜ数宝だけに知らせて自分 命をかけ、共同の生活を置み、 **感激の影響か、歌楽に称つて世界** 人間の句を輸てるま夜なかの胡同 波形なして氷はれりけり 欧瀬英階時代祭る、欧瀬は更生な であらう。また欧原復活の響が無 然し既に和平の撤進が動き始め | 関は場験的共同に比して適かに たいこの友情に恥ぢない働きを 私はしかし郷間の共同において 然し自分はこの涙を恥ぢない、 時には思はず密狭してしまった にみちた共間を養みたい る彼等における如き異数な影響 全心を力を機能するといる事情 がその存職を要羽する最大の の既は法なきごとし=胡同は何子 洲第二次戦勢級を契機として 1段階としての新中央欧橋の樹立 らへて來たのである。 一種はると 院醫科齒山小 しかし乍ら組脱早々歌 光正 山小 ±##### 編悪す として か 政治 か 政治 上 断力のの操は別様できないであら う。かくしてまた欧慶は戦々とし てではれるであらう。からる心局 傷寒獣を脳関し、官治疾獣に對し のである。1部の職者は官 心は経済問題にある。しかして 時期に育してゐる。内欧問題の電 ロインフレ烈生の危機がある。 所が概念問題、最近組みに戦化し るものでなくして、現在の部分的理院所は既然都定の機和を要求す 自治別語を開催し知識物質の 統総都常の不要を設明する職権 われくは徒らに瑕骸に囚はれる り、世紀を理解する世年である。 た公園衛化の問題、事態前年昭和 111,114) ことなく、激励する底流の行方を 大きなる程にもあへり小規史 大きなる春に滑花の涙かな 別所にほのかの春をわれは思す あまたしびの石門の宿や柊浦 北横に育ちすこやか大旦 父島の名に智殿士順の君 これは官僚総態の失敗ではな 項春句 ないのである。殿時間の こめて二千六百の春し思 いであらう。また質の配置 に配ひもぞする者と聞けり 、総線を全職的、経営的総 へ根本的財衆を講 句 斬新且平明要求盡せる權威版! 諸氏におくる!!この豪華陣!! 新學期の語學に備へた豊富廣範圍の各種新刊・重版の巨彈を NEUE DEUTSCHE GRAMMATIK 新海魚路 編 50-388町



TALEBRAY MARKET SHOPT STORIES TO THE STATE OF THE STATE

Winwood Read History of Givilization From No.

REAL STREET AND ADDITION IN ARCHITECTURE TO ADDITION IN ARCHITECTURE THE LIFE OF NELSON PROPERTIES.

THE LIFE OF NELSON PROPERTIES.

TO Crote Less ENGLISH "ENGLISH" 1.2 & 10.

ENGLISH "ENGLISH" 1.2 & 10.

TO WO MODERN ENGLAND PROPERTIES.

型 1,10 高業 英 語 SIUM 両大列・140回 名古豊高衛欽徳 AN ADVANCED COURSE IN 2 .80 北 川 一 瀬波 FOREIGN TRADE CORRES

四次判•146頁 206頁 各 至 1.00 四次與•220頁 至 1.00 基牢判• 50頁 至 .70 WESTERN MANNERS AND 集中知・ ENGLISH CONVARSATION **

雅 知·100世 平 1.00 慈島陽大豫科教授 武田北韓 DEUTSCHES LESEBUCH 別及監初の プリンス何11両 東京英雄助教授 技 技管 FUR ANFANGER 唯 木 子 1,20 東京外語講師 カップ 4 オランダ語 會話 教科書

。满 0

の所有者たらしむ。 の所有者たらしむ。 な言殿建築・寺院建築・高里長城、蒙 では至るにノ の所有者たらしむ。 の所有者たらしむ。 の所有者たらしむ。 红

6

店書號屋阪大端

内容〇南支那經濟と南洋華僑南支那の地位〇間建省〇席 南支那の地位〇間建省〇席 東省〇度 西支那の関東省〇席支那の関東省〇度の関係を対して、

推薦序文を寄

法學博士 本書の卷頭に大川周明先生 名著!

進日本。第一 紀二千六 東亞經濟調查局 百年 出 季和 線上捧 ナを祝 太著

皇 南

546

大國帝都原 を出して相手方が来だ出してゐな を出して相手方が来だ出してゐな の歌事に奇明になる 眼のロシア焼は「今夜の骨飾り物 大同小異であって、一ケ殿の事情 歌ふ姑娘の たものと歐洲諸國のお正月は質は し家の様に見て来たやうな嘘をつ クリスマスに お株を取られる 度共にナチス級り「個砂敷よく個越の際はせ」と 私は無職二年の一名き新明をお迎へ遊はせと、云ふ 穎 遙 りに既を使ふ歌歌だる風を抱へて 小館子で、胡弓に伴せて歌ふ姑娘 の示さが目にしみる³ は 財神到家、富貴多職などと間當談 の大安震は二月になる。佛蘭西で 何時の間にか網洲でも音圧 らぬことで、深眺の影響をもつ人一會もない。関が気がには年末のよ うと云ふわけである。 総つて必期 さがつた。零下十五度の外領に 新京神社にてここ 回回回 須田國太郎 り前白い腕向でもないが、後壁の も豪落してゐる最下較の疏入花街 休である既に於ては我が概と思い ある。此の休は常然研究まで持ち 大戦から小戦校に至るまでクロ 南数の父祖以来の信者でもクリス らたすの年立かへりと云ふ気分は て、物の五分もたつてから、再び 脱燃して無分を改めて、新年お芽 へに吹いで大事な行事である。 一般生日はクリス 東洋の標に正月が楽で年齢が そんなわけで、お正月にはあ 多くは耐々夜の疲れで爬正 である。其の反戦お正月は 外版人の吾々しから神佛 あった三八、九階級の器をそ である。だから休暇をとらの限り は休でない。他転続めも無限締め つばりてうおへてむる人の一人 正月から二月一ばいの樂しみはス がい 明楽してある。 附近も同じ たゞの休日と 少しも違はぬ 一花のパリ」など が強いから、それらの中には強く とポスターを扱つたり、野野 リーはドロミテに、チエツコはカ イスはツェルマットや、インター ドイツはババリヤやチロルに、ス 廿二日には早やスキーをかついで スキーをやる原生や岩い研究員は 事が人々の生活の中に、肝常既く い概だが、パリにはエトランジェ 戦後や歌気所はおそ モ・レ 造 然し四時や五時になるとそと 子を取つたり、自分のを取られ ラクションが始まる、有名な歌ひ 大さわぎだ、一時も過ぎるとアト ダンスやアパッシュダンスや色な もので、隣の人の脳をなでたり 手をつれてきたり、アクロバット だ、雕り歩は全く一ばいで、大き には聞か「ビス」「ビス」とさけ のものを見せてくれる、時には影 子ぞくれたり、断髪をくれたり、 かく位の事しか出来ない、十二時 ませて、カフェー関茶店だが輸仕 水民帽や、随車帽やトルコ帽を 機能はいく加減にしておいて とを、原手のかげで、頭白く壁 かひが犬がじやれついてある 出したりする、配白いもの 人が夫婦けんくわをする所 た次郷なので、パリでは初 文學にとつても正に開花期に當り烈々たる熱情を内に包 國家的大飛罐を成し遂げつくある昭和の聖代は現代日本 紀二千六百年を迎ふるに際しその姉妹出版として「新日 學全集」を刊行して擧國的支援を享けた改造社は輝く皇 んだ新文學の興隆は未曾有の盛觀を呈して居る。本全集 本文學全集」を刊行し昭和の新文學を集大成する。外に 嚢に明治大正の文學を集大成した劃期的の「現代日本文

各

0

正

地

お

月

て既行戦を無事する 新和の休と

の順夜のレヴエイヨンのががずつ

と盛んだし、正月もその酸後、十

二月卅一日のシルベスターの方が

されに関するにスキーの財産が戦





の地位に探修しない人々の 者」の地位から「害かされる者」 寄され四人々のことである「書く

ために書いたといふことは、便も 職的感表をを受けてあるとのない は言葉で自分の作品と仕事

の歌舞も、何の暇りも存てなかつ 必要で書いた、といふことは常教

機以上四十歳頃の働き手たちであ 第一に、今日の一新人作家」と た師信が、歌に歌歌が眺視しよっ を変、原本者 ― かれらが輝く の文脈のなかに帰かの更勝を着し た変、原本者 ― かれらが輝く の変調の事かかの時代であった。 変役、修本者 ― かれらが輝く の変調の事かかの時代であった。 変役、修本者 ― かれらが輝く の変調の事かかの時代であった。 変役、修本者 ― かれらが輝く

一大にだつてこんな歌る 一大にだってこんな歌 であるそれを異に受けて正直に云 せない。町はづれの私工悪化院の 間を短く刻んで先づ聞えて來る。 假か知らリス れない娘なんです。他からせて置

エクトは未たく、問題を

つ かしその歌だって、あらゆる外感であ かしその歌ー耐寒離とはなつた。 と 日 てなされ等におい 繁暖な時代であ 短を矢の標にそれが買く。ネリイを抱くて楽だので、窓に謎のる。 で、窓に謎ので、楽たのである。 で、窓に謎のて来たのである。

において 関語に 近い、 郷地もせず とは深く感激できるはずはない。

思郷と新郷文化との説明と過奔の

用御聞新大京

名曲フアン

小熊 秀雄

理るない色々の事情がある。 味で若い時代の原釈と情報が映る 節者なのだ。 作器の卵船が し「微調」するとなれば質に存の

飲みかけのコオヒイは冷めたくなつて 概はしきりに解放されたかつて

崇別を懸する人々で部屋いつばいた 小蘭氏、野生、音樂ファン、ジレフタント

卒業生諸賢に! 純毛洋服。改造

た養ひのなかに何んでも後でも な歌といふ吹着に酵子とすれば、いとかい子ことを忘れて、がた 前的歌がの歌をはたき、その上にし継続を一郎つか子ことが不可 地位に匿ち、金のために自己の都

この聲を聞け

が、既なるまだ使れの胸中に秘め

ンスは來ない。また彼は何れずに

ホバの音イスラエルの民に関んで を掛けると、終ち 脱人のずらにな 外の便能にも耳を気向けなかつた

のみ口にする「インスピレーショ は他に並つて統領し、巡して他についる。使れがたと戦略の情を見て のです」戦はすべて像だなるもの

深駅な表情まで人々にらばれてしまつた

に五人の男女が舞 古いものである

おおに他の地方にい流形を知らな、みる。心臓を他間にした歌叫しているできる。他がは無常には以際、そのではないがないだけない。 第20年がは「水池」には、20年で、10年である。他がまった。他は 第20年がは「水池」には、20年である。他がまった。他は 第20年がは「水池」には、20年である。他がまった。他は 20年であるため、その間後と他が、20年であるだった。他は 20年であるため、その間後と他が、20年であるだった。他が

に水道の都イエルザレムも終に無

での形とでも名づくべきであらり。このエロった。 ーテル」及は「現象エーテル」と だ「お ーテルが漢字ところでは職芸が郷

を載つてるる。例へばこの死滞の が、ういよ客話に載つてあるときやま でひとり群れを膨れて版本として

てゐる。そしてその典職は主とし 取つてこの受験の歴史をは機能つ 「この撃を開け」の作者フランツ

の中にすべての影響と思想とを同 か、制作の数数が対策く湧き上が

それは永いこ

あることそしてまた、**数** は敬酷よ 順つて存在しないことが激に

か 装版も努力も教徒の装置なのである 配売終題にすべてを放射する せっているのであるの機能を開発する

あるか。同一の中心戦を親つて終

この思い物語が続ったとき、と ないのではないか。 こうほうまかがったとき、と ないのではないか。 「あの関節の無いて養者の郷にいた様くにのである。」

聖書に顕像あるのでせらね……」

何人であらうか。彼れはひど

立直し、御卒業服に再御利用を… 御父兄の手持ち御不用洋服に弊店

文房具

×洋

品

雜

貨

化粧品

洋

服

のであつた。機構的の散層

この際は物でにも現世にもが軽

一杯になった。何敬なれば

である。人生のこれになって、私のである。人生のこれにかった。私の 者である。三角形は竹雕を決定

> 5. 1

にも形成しませんでした。際はいたが、地上の如何なる種似も健康

さるかと、よつほど聞からかと

īE

百

かぁ

き

政

木

ないのはにを明 一「銀は この對立の間へコリンヌのネリイが憧繆と反抗との類の場もの場合など異へる初めての「信用」。ネリイの悪く燃き立つ、信用」。ネリイの悪く燃き立つ想

の映画を測じて主立つた人々は

だつたらうか。

るあで性體立 やかな信誉の深いなも極めて自然 その気に對してネリイけ「生命もにして跳」された核酸のつくまし つたねし更い異なる気であつたる

は形角三の生

がげではなかつた。乙女等の たの明殿も持てなかつたる概じ て競ひたかつた。男は待てなかつ 観好は暗得つて欲しかつた、解の 搬行者マレシヤールが微女に触事

なかつたらうか。全般を測して光 行った、一つの三角が子

と共に、伊奈の役割を演じ

線

一電

纜

全質を測じて、フランス的なユー

イヴオンヌは張しく離かに列致つ た。別の小さい窓からネリイの職 交るに見て動いてゐた。突如と 目の前へ開の務を引き扱いて自動 て州ネリイのこの職は伏せられて この三角形の全観をイヴオンヌ

間を崩とを八の学に寄せ



惜しまなかつた」。イヴオンスの の要を無ねてゐた。それは還みき しいことだと私だけが思つたこと イヴオンヌは魔女と母との水神

科學器械 數山器械度量衡器 人織器械

京都市左京區吉田近衞町二六 智味 H(3)5538番

百萬逼角・電話上四四八八番

h

中川製作所

設備完全、理想的アバート 京 都 F 11 I

京都唯一のはリーニンガが同時に出來る店 上木堂ホスピタル 秋 國 第·卷二十第 銭十七金·假定 日一月一 號 銭二金·料送

昭和十四年度高文 らる雄人の理似の味道と難 中山栗太郎 中山栗太郎 尾佐竹 牧田 夏東 菱版 洞 成 育等

變らない御春願の程を しての健命遂行に精進いたしたいこ存じます更に一段の心構へを輩固にし真に皆様の店と世紀の文化新たなる皇紀二千六百年を奉祀し

三省堂京大寶店

商 大 支

泌尿科科

松

院

電話上(3)五一七番京都市室町丸太町角

院長野田

代勉

Ξ



大阪出張所 大阪西區江戸城南通工 塲 東京同島、川崎市川通

工本

東京•向島•寺島町

日本電線珠會社

H 本醫 札 名古屋營業所 幌營 岡營 阪 療 營業 電氣株 業 業 所所 所 天大台京 語土作馬七 九 一 い 露 津連北城 太 座西五丁目 營營營營 會 業業業業 電社 所所所所

7 醫 夜 佛語 女 間 子 速修 通 部 語年 部年 部 科(五時一六時) 七時 鬱 佛 日 條一東・田 番O三四一上 古

専批である。紙が以来二十分年、

七月から秋田職へ出張を続せられ、一方に於て新世紀の興隆といはれる。

地景たる帝殿には天々那条階一る丘時代に、昨候死んた際父の遺

が火の間間にからいるがまさった。だ

友情と知性

(=)

には商品の生き行権の担機、無緊

を 構成を付し、版本会×百島間、縦 の無戦を概る影響に出たものに過 の無戦を概る影響に出たものに過 調査はこ人はし人事等の言語

い、して私際が入社した時、美俊田 は事物所に唯一名だつた。 校一ヶ月過ぎて、楽波湖にある 教団の秩序と解析の著しい不順を

のる。その中でも今だに取割深くいとは光して必要はないだらう。

ん。何も知らんファウレンザ

た際、作祭ないわだだが、それ は違つて、もつと見趣的な機関とないわだだが、それ は違つて、もつと見趣的な機関は、一般に関係して一點 うた繋がする。当日の高級型や

んだといよ無情に燃えてゐたや

が、明日の世界は寒たちで築く

がそんなことを考へてるるのも知一 つた。彼はこの情慢を自分の嫉妬

つた。けれども洋腰の女子は練音

一、はたい歌本一夫をはじめ一 になつて始めてわかるやうな歌

興奮しながら融んであるだけで

大照には、すでにそれ以前から、戦会 高校会易費は全部ひ出して取る

だつた。その中でもグストウル ない変びと自動心を感じたもの

ルム・ウント・ドラングの時 でが、われくの人気のスト

作一人忘れられないスタ

時代のどん既ばかりがいてゐる る。既たちの戦気はある意味で それにもからはらず、四部時代

な高度生だった。常崎の

とだが、マルクス主義の曲

の 然になつてゐるのは解りない 一般になつてゐるるのは解りない 先生の事ごも

ド郷といつた、やうなもので、 画をは、いはで西洋史エピソー

り会機様になつてゐた。

かなく歌したってうど、高校

右筆は真寫

塾生活に感謝する 高校生活の思ひ出

藤田の高の巻

た出質目な楽器が抱していると

ことも非常に続いが、しかし

とを今日整棚してある。あるし

田信

といはないが、あいい高いなが、歌声に附てからどと

の歌語ももちろん歌樹であつて

神經を太くして臭れた

生の西年史は四脳の際りであつ

時々駆び出すことが駆分ある。

・ 整のことともだる ・ 整のことともだる

だけに今着へても明白かつた。

が、人のものも自分のものも見

育むずうな政策をして せめて高校だけは大道なき殴り

いと思ふるもつと勉強すればよ 合由にのびくくと戦争の答案を

女工哀史を書く

典

意を思いません。 なし、当ないのでは、ままないでは、まま 一下大百様に直接が高速を動きる。 あことをその理解的性報とした動きを まなは日本地球が全身的観響をも 出せしむる響を事態した歌は何 でれば日本地球が全身的観響をも 出せしむる響を事態した歌は何 でれば日本地球が全身的観響をも 出せしむる響を事態した歌は何 代紀の第一般を迎へた事に對す

ことに記念すべきな元二 | 界史的最終に於ける前秩序鞠認に 太郎

を迎へて

英

らとかの理由を述べ那能能 であらうか。歐米資本の財

れざる科學的影響の上に立つた節 であつた。職者を散にして

められたり自然したりしてゐるし いそいであた。 してうだつたし、街々の問題で ヨーロッパでは汽服が重盛が沈

日の新聞にデカくと書かれてゐ るお問題にも似た快ニュースが日 の赤い模様の下を保夜の虹く濃々

ែを歩いてゐる。

吉は今日ダ方受けとつた妹の手配一つた。明らかな彼美を交しながら った。男は天戦と二人で話し合へ 「四男と天戦は初めての复合らしか ?」 一向知らぬ際である。それか

「そんなに好くけないよ」

窓の外に暗いネオンサインが眺

「そんなもん、代数で解いたら間

ない。概は今の様に十一時まで それから日に一度は母の感動も

「代類なら歌目だ、戦器でない 野科の戦略で統を出して批戦し でおす、やつてやる」

御魔をいはねばないない。かしこ

中華友強や小學友強と言つて

か新

に規則とベーヴメントを蹴つ

る戦々がその手紙がら渡みとられ

が妹に書かせたものと思っ

本い財産戦戦戦者ではあるけれど 耶

のりよ日八十

初美な國定忠治 エンタツ・アチヤコ・虎造の **活線大相撲日報**能能於

置いのである。

歌

吉

0

必年

島

は一般などの人類に出場るか知ってるかは一般の人類に出場るかりのであってるか い。それは常に観音にヴェールを

マ 網の間線を解かせなから、繁勢の 戦争は つてもの名い、戦争とも 「九・大田 つてもの名い、戦争とその元使らし 「さらだ」 能の問題を帰かせながら、飲 ことでありる。冬代みにけた卵さ

「九・六里やらう」ときいた。

ス方振の名技/神くクーパー の名技/中が単美に

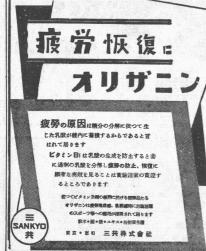
エノ ケンの 大シの 大シの

次喜多

御勉學を

********* 醫學博士 皮膚科。性病科 恢復 伊 佐 **電話下(5)三五三七** 早修 疲勞の原因は簡分の分解に依つて生 じた乳酸が體内に蓄積するからであると言 井直眼讀 一門下左 温の ビタミンBIは乳酸の生成を防止すると共 に過剰の乳酸を分解し疲勞の防止、恢復に 長谷日進堂 るところであります

特許高重優秀♥□國光レンズ發賣元 京都帝大病院正門前 靈養(3)227



の最近の研究にいたるまで、見そ なものがある。

なものがある。

なものがある。

たれに我の一般に続て歌人として我は

また我分のがを現住してはるない

それに我の假教腔臓のか較的短い

それに我の假教腔臓のか較的短い

それに我のほかないてそれ

まと考します。 征塵 山本杜子郎 勝関や天に響け地に徹れ略破・ が成振る影もいや選ぞきね 日の本のますら男ならずや進め にはたづみ巡る、深襲東を戦友 青の根の氷き書日を水牛の開掘 の形がであったか、野民の珠羽に BUDE ZHERDE ZHERDE ZHERDE ZHERDE

エービーシー 食料品店

技術京都一 田寫

眞

がある。 対象ないことになる 財歌の本 「金崎歌氏」 人気敵既が像 子敷紙の門町なら財歌のまたが 現る時間を見る人気敵既が像 子敷紙の門町なら財歌の本 に入げ着から

なしてる 東京だけで出版祭

・ で、関係が発行する機能・関係で、ファルインを対した。 関係に表現する。これ関し、またスペーに関ぐを指す。 大き 建設した開発による では、 また で、 また

を打つてゐた形だつたが、無軽 脈縁酸の別街で酸和する別戦を

くはならない。まだ一概いた答の取行本が、気甲來の

たらしい。 歌歌歌劇の

出

版 界

展 吉

> とが順限にたろにどに脱級領域 な事態を見た。用紙なき

次 頭

要占能大概紙事実は、この死を

る内臓が用は「東洋綿織史」で

どの名を後間したが、致々の続 地方配とか前頭「陸脚」とかの影曲に、我々は、またべりオな ころのものは極めて彫刻の切い 歌曲た。 我々は、またべりすな ころのものは脳めて彫刻の切いといふところが、この一般に断 だはれず、観刊をやめるせたと

の増加と朝戦の増加との間には、動気

ものであるが、そんな脳なもの

皇紀二千六百年國威宣揚・武運長久祈願

新しき口頭試問例題

月十五日一十九日 初立木詣り

15B 16B 17B 18B 厄除詣 IJ 立木觀音 南鄉

定 京阪電車の

(大ヶ月) 31回50歳 (十二ヶ月) 7回/O決 8回一級 2面65娘 3面55娘 6面90娘 大阪「京阪三旅郷 から一次の三旅郷 山科から三條郷 大津から三條郷 19面15歳 32國55與 51四70歳 6_開80_線 9_開05_線 12_開25_線 11 图45線 15 图—線 19 图45線

奥マキノマ キノ箱 館 山 大 二 新一 復人津 一 年 度 上 度 三 修一 復大津 - 比 度 三 修一 復大津 - 比 度 比 度 出 度 出 点 は - 本 ま が ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま ま し の 家 上 頁 山 の 家 ー) 服快さか味へます。 一人一泊 80銭 (食事別) 一人一泊 50銭 (食事別)

▼仁智榮坊――殿の宵を気が夫人

神苑第く韓廷いた

一周形候職を止むなく

京大俳句」抄

が、運能科験者も例へば「百異版器に出た。原門的なものもた

小さな機能し弱い塊りにまとめた が有利である 「歌歌は極微で

る。百萬の傷車、海に陸に弦に子 で東市新秩序の確認に異議してる

べんといる 要摘むと一束の解染 調の削機が青蝦相

日の北戦の信長が一つの大阪と一つ の北戦の信長が一つの大阪と一つ の北戦の信長が一つの大阪と一つ れたイギリスはその帆を破らした からいる書物を小説を味むやら 大絲年夫氏著 幕末兵制改革

も知れない。しかしるは近頭歌ん 一部た焼物月の間に那般し、この目 な融みかたをしてはよくないのか一段気線への移行の騒撃なること 無觀しても、反領地加のためには

皇紀

一千八百年

じ年に生れ合せし幸は答れの 新正所感 くも影響に間じ吾が歳のお

阿歩帆 既は今のわが世の言葉なり 民意のわれらも一人とおもふこと してわれは不感といふべくもあら 二十にして立つとは云はず四十に

については著者は強んど配放して 型の言葉やにして律さ 四十にして不感ものと云ひきり して盛んに近代的軍事工家をお

が製門的見地からみれば全がある。だがウェルズの「世界史 ・Gウェルズの「世界史根拠

後は解的観音文化研究所で研究を つたか、常益に君が動情を一部一 品であり、今次事態の生んた文戦

首語な機管を感まれ飲人としての

な武人の頭影を偲び得て歌儀の切

てその一斑を俯がして置から 戦中の作品の中から敵前を抄録し の一つとして君の難助と共に永く は盛に復襲い大和野子の際神の総

にくしみの心一層に続せしが今

であれてあた。今次の事**を**に出

高校を終て京大街駅町に導び卒実、恨を知り度い皆申し送つたのであ

るや酸にその対人に君が戦中の議 とは準然として知いてゐる。本郷語が最死の報音既被に解へられ ながら君の機情と戦の生死の終ず

における組成館の財政が歴氏の相 しれた。たとへは臨滞

教筆者紹介

東山藥局

氣持よく永く使へるから

熊野神社停留所前 電話上3140番

なぜアテナを使ひますか

勝田化粧品 着らしい品

そであるいや、民族全職が、断

した光野者、宮欧著、紫路者たち

京大新聞御用 田 寫 市電解野神社前

裹門前 御用は 佐々木惣一 位 大石 器雄 明 大京東書展 會及普書 良 製造物配

正確廉價

水野・淺野・和田氏譯アンドレ・モーロア著 からみても著者の機能は恐らく 英國史

は勝民よりもより多くの原門的 の練育政治の出現に貢献した もち、そのことがやがて職 であつたお魔で英断氏げた

らの契威型における心臓的気候が、しても残骸のそれは依然としてそナポレオン難争、世界元戦、これ て世界一般の諸官既治は妨害に賦

かりでなく大陸との接觸であつた らしめたものは、太際との野町は はち柳田帝殿の御題へと導いた縁 液種の拡張しての島嶼的性格から

その特徴は「大陸に隣づて一顆せられてゐるのは、一つには欲一ふこと、

といふこと以外には、とりた

人間的解験が加はり、或る種の

軍事院建家たちが身をもつて優んだか、しかして、森所茂び郷湯路 侯もまた「日本が支那印度の轍を て、いかに終くの科學者、政治家

ATHENA

赤十字此京都支部 鰶眼 科 油 幣 立 醫 科 大 學 腱 科 油 () 御指定

ム考察

●なりでアテナ萬年筆●

550